

● サイバー空間の脅威に対する総合対策の推進

施策目標（PLAN）

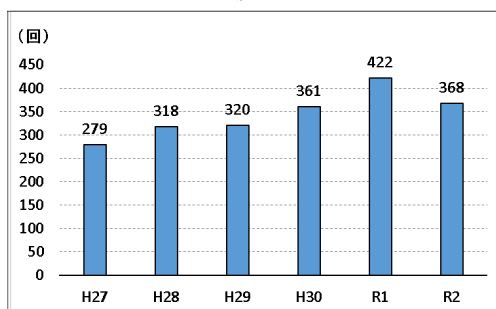
サイバー犯罪に対する効果的な取締り及び官民が連携したサイバー攻撃による被害未然防止対策の推進

実施項目（DO）

- 1 インターネットバンキングに係る不正送金事犯等の高度な情報技術を利用する犯罪に対する戦略的な取締りの推進
- 2 ネット安全教室の開催及び自治体、民間企業等と連携した効果的な被害防止対策の推進
- 3 県内の重要インフラ事業者等と連携した情報共有による被害の未然防止と共同対処訓練等による対処能力の向上

実績（成果）（CHECK）

- 1 サイバー犯罪の検挙状況
※ 前年に比べて検挙件数は減少

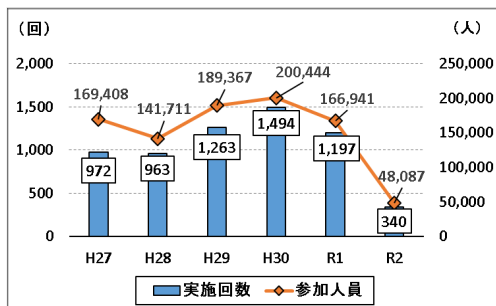


【サイバー犯罪の検挙件数の推移】

- 令和2年中は、AI技術（ディープフェイク）を悪用した著作権法違反及び名誉毀損事件、クレジットカード情報の不正利用による電子計算機使用詐欺及び割賦販売法違反事件などの社会的反響の大きい事件を多数検挙

- 2 広報啓発活動の実施状況

- ※ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、前年に比べて実施回数及び参加人員はいずれも減少



【ネット安全教室の実施状況】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、SNSの利用に起因した犯罪被害やトラブルなどの事例を踏まえた「ネット安全教室」を実施
- 県民が新型コロナウイルス感染症に乗じたサイバー犯罪の被害に遭わないよう、県警ホームページやツイッターなどを活用したタイムリーな情報発信活動を実施

- 3 その他の活動状況

- 複雑化・高度化するサイバー犯罪に対応するため、情報通信技術に関する有識者を千葉県警察サイバーセキュリティ対策テクニカルアドバイザーに委嘱の上、研修会などを実施して捜査力の向上を図った。
- 千葉県サイバーテロ対策協議会に新たに3事業者を加えるとともに、各種セミナー等を通じた情報共有や共同対処訓練等を実施して対処能力の向上を図った。

今後の課題及び方針（ACTION）

- 1 課題

- 社会の変容に乗じたサイバー犯罪への対策の推進
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会におけるサイバー空間の安全確保

- 2 方針（一部変更）

- 高度な情報技術を利用する犯罪に対する戦略的な捜査の推進
- 時機を捉えた効果的な広報啓発活動の推進
- 県内に所在する重要インフラ事業者等と連携した情報共有による被害の未然防止と共同対処訓練等を通じた対処能力の向上